

平成 29 年度第 2 回理事会開催

－ 賦課金等の 20% 減額請求措置、30 年度も継続 －

今年度の定例第 2 回理事会が去る 10 月 26 日、東京・大手町の KKR ホテル東京 11 階「鳳凰の間」において開催された。

奥村会長を議長に、第 1 号議案「平成 29 年度上半期業務報告及び収支計算報告」、第 2 号議案「賦課金等の減額請求措置の平成 30 年度の取扱い」、第 3 号議案「川口専務理事の定年延長」について審議が行われ、いずれも承認された。

その概要は以下のとおり。

1. 上半期業務報告

(1) 平成 29 年度上半期に、東京港において当協会が取扱った輸入植物検査貨物は 1,105 千トン(検査・重量ベース。但し、切花、球根、木材等を除く。)、前年同期比 112.1%と増加した。本船貨物では、果実の主力であるバナナが前年同期比 11.3%の大幅増。カンキツ類は GF で 26.7%、オレンジで 20.5%、レモン 83.3%とそれぞれ大きく増加した。パイナップルは 4.9%の減少であったが、キウイフルーツは 7.2%増加した。

コンテナ貨物は、4,420 本増加し、409 百本であった。引き続き乾牧草の輸入が好調で、チモシーヘイ 420 本、スーダンヘイ 380 本、フェスクヘイ 270 本、アルファルファ 210 本とそれぞれ増加し、乾牧草全体としては 1,280 本の大幅増加となった。コンテナ詰野菜類は前年とほぼ同数の 8,230 本であった。キャベツが 280 本増加したが、ブロッコリーが 230 本減少した。果実は全体で 660 本ほどの増加となった。カンキツ類に大きな変動はないが、アボカド 200 本、キウイフルーツ 140 本、パイナップルが 100 本増加した。穀類・豆類ではコメが 450 本、モルトが 210 本、ダイズが 780 本増加し、全体で 1,540 本増加した。

(2) 輸出こん包材の消毒証明件数は、前年から 10 件減少し 1,556 件だった。

(3) 輸入植物検疫規程の 4 次改訂については、HP や植検だより等で周知に努め、円滑に施行されるよう協力を行った。

(4) アジア型マイマイガ不在証明事業については、米国及びカナダで 2012 年から完全実施となっているが、当協会への検査申請は本年度上半期もなかった。

(5) 10 月から運用開始された第 6 次 NACCS の総合運転試験に積極的に参加し、植物防疫所、通関業者との情報交換に努めた。

(6) 職員の資質向上を図り、日常の受検業務などに一層的確に対応できるよう、関係機関の行う内外の各種研修会、説明会等に職員を積極的に参加させ、最近の植物検疫情勢を学ばせたほか、他の地域協会の職員との交流を深めさせた。

(7) 広報活動は、定期的に発行される当協会の「東京植検だより」や植物防疫所、全国植物検疫協会の機関紙をはじめ、関連のポスターやパンフレットなどを配布したほか、様々な検疫情報、現場情報をホームページ等を通じ広く関係者に提供した。また、日頃全国各地から寄せられる問い合わせ、相談などにも適切に対応するなど、東京港における植物検疫業務等が円滑、かつ迅速に推進されるよう努めた。

(8) 関係当局及び諸団体との連絡・協調を図り、特に全植検協については、奥村会長が理事・副会長に就任しているほか、事務局においても各種委員として、同協会の運営に協力した。また、農水省植物防疫課も参加する「植物検疫関係団体事務連絡会」において検疫現場の状況を報告し、問題点を提起するとともに、検疫情報を直接入手した。さらに、近在協会とも定期的に連絡会を開き、意見・情報交換などに努めた。

(9) 来年の当協会創立 50 周年記念事業のための「実行委員会」で、具体的な企画の検討を更に進めた。

2. 上半期収支計算報告

(1) 上半期の取扱貨物は上記 1. (1) の報告のとおり、本船貨物、コンテナ貨物ともに輸入が見込みより好調で、収入は本年度通年予算の 55.7%となった。

(2) 支出は管理費を抑制気味に支出しており、本年度通年予算の 48%となった。今後、下半期によほどの激減が無い限り、輸入量は予算で見込んだ以上と思われ、収入も予算で見込んだ以上になると見込まれる。

3. 賦課金等の減額請求措置の平成 29 年度の取扱い

(1) 平成 15 年 6 月から賦課金・立会料(輸出こん包材の消毒証明料を除く。)の減額請求を実施しており、25 年度からは 20%減額となっている。

本措置の次年度における取扱いについては、毎年、年度前半の業務量及び収支状況などを勘案して、秋の定例理事会において協議することとされている。

(2) 上半期の取扱業務量は前年同期比 12.1%増と見込みより好調で、下半期によほどの激減が無い限り、通年の賦課金等収入も見込み以上と思われる。

一方、支出は管理費を抑制気味に支出することとし、その結果、本年度の通年収支の差引額は、予算見込みより15百万円プラスの2百万円の赤字になると思われる。

(3) 以上のことから、平成30年度も減額率20%を継続したとしても、輸入状況の激変がない限り、さらに1～2年は減額請求を継続することが可能であり、平成30年度も減額率20%請求措置を継続する。

植物検疫くん蒸安全旬間を実施

11月1日から11月10日まで「植物検疫くん蒸安全旬間」が実施された。本旬間は農薬を使用する植物検疫くん蒸における事故を未然に防止し、検疫くん蒸が安全に実施されることを目的として、関係者に対する啓発期間として設定している。

東京港で指定を受けているくん蒸倉庫は一般倉庫、又は定温倉庫の一部にくん蒸倉庫として設置している場合が多い。屋内という閉鎖空間での農薬使用である為、隣接する倉庫も含め、施設全体の作業に係る関係者へ検疫くん蒸に対する安全対策の確実な実施が重要となる。このことから検疫くん蒸に携わるくん蒸施設、防除業者、植物検疫協会の三者が安全意識向上を目的として自主点検期間という形で例年実施しているものである。

期間中、関係各者は自主的に安全点検を実施、当協会では、各消毒施設への啓発ポスターの配布及び掲示による周知、日頃使用している職員のガス検知器具や防毒マスクの点検、吸収缶の交換を実施した。



防除業者では担当する施設を訪問し、消毒設備の点検と施設に対して安全対策に関わるアンケート調査などを実施。消毒施設においても設備の稼働点検を防除業者と共同で行い、防毒マスク、検知器具の点検を行った。また、期間中に各施設に協会と防除業者が訪問し、くん

4. 川口専務理事の定年延長について

来年6月に常勤役員の定年である満65歳になる同専務理事について、5月の第1回理事会以前に後任候補者の決定および了承を得ることが不可能な場合、就任可能となるまでの間、同専務理事に現行職務を続行させることが了承された。なお、後任候補者の選任等について会長に一任された。

蒸時の安全に係るミーティングを三者で行い安全対策についての意見交換を行った。ミーティングでは協会側よりくん蒸を日常的に行っている施設に対しては、今後とも安全対策の徹底をお願いし、くん蒸実績が無い施設に対しては、実際のくん蒸発生時の丁寧な安全対策と事前に防除業者と協会に相談の上、危害防止にあたってほしいと要請した。施設との三者ミーティングには協会の要請に基づいて植物防疫所にもオブザーバーとして参加していただき、各施設の安全対策などの対応の報告に対して、的確な実施要請と設備のメンテナンスによる消毒能力の維持などのアドバイスを頂いた。(写真)

旬間終了後、防除業者と協会で開催された報告会を開き、点検等の報告やミーティングで提案された注意点や安全対策についての意見交換が行われ、今後も一層の検疫くん蒸の安全な実施を目指して継続的に安全対策を続けていくことを確認し、本旬間を終了した。

(業務グループ 大西 洋)

イスラエル産スウィートオレンジ、グレープフルーツ、スウィーティー、ポメロ、レモン及びオアの生果実に関する植物検疫実施細則一部改正

平成29年10月25日付けで、条件付きイスラエル産シャムテ種及びバレンシア種のスウィートオレンジ、グレープフルーツ、スウィーティー、ポメロ、レモン及びオアの生果実に係る低温処理消毒条件が一部改正された。

主な改正内容は、イスラエル産スウィーティー生果実の低温処理消毒条件に、これまでの1.5℃以下で16日間に加えて、2.2℃以下で18日間の低温処理消毒が追加された。なお、スウィートオレンジ、グレープフルーツ、ポメロ、レモン及びオア生果実の低温処理消毒条件に変更はありません。

その他輸入条件の詳細については、植物防疫所ホームページをご確認下さい。

会員・役員の異動 (平成29年10月1日～平成29年11月30日)

☆入会会員

10月11日	オーシャン貿易(株)	[商社]	〒604-8134	京都市中京区六角通烏丸東入堂之前町254	☎ 075 (255) 0600
11月1日	(株)エムズトレーディングファースト	[商社]	〒221-0052	横浜市神奈川区栄町3-4	☎ 045 (548) 8276
11月24日	(株)カスケディア・トレーディング	[商社]	〒330-0056	さいたま市浦和区東仲町12-12	☎ 048 (762) 9340

☆退会会員

10月31日	鈴江コンテナ・トランスポート(株)
--------	-------------------

👁️ タイム eye 🗨️

業務グループ 乾燥牧草の輸入量が増加

東京港において当協会が取り扱った今年 1 月から 10 月までの乾燥牧草の輸入数量累計をまとめたので紹介したい。昨年同期の累計と比較し、品目別にまとめた表が以下のとおり。昨年の 15,167 本に対し、今年は 17,702 本となりプラス 2,535 本と大きく増加となった。

【東京港 1 月～10 月】

単位：本

品目	平成 28 年	平成 29 年	(±)本数
チ モ シ ー	5,311	6,400	1,089
アルファルファ	3,815	4,182	367
ス ー ダ ン	2,076	2,568	492
ライ グ ラ ス	1,607	1,527	-80
バ ミ ュ ー ダ	1,029	1,165	136
フェ ス キ ュ ー	339	747	408
オ ー ツ	81	122	41
オ ー チャ ード	72	91	19
そ の 他	837	900	63
合 計	15,167	17,702	2,535

牧草輸入量の主な産地は、米国 15,302 本(+1,918 本)、カナダ 2,306 本 (+611 本)、オーストラリア 94 本 (+6 本) と全体の 8 割を米国産が占めている。

品目別でみると、ライグラス以外は全て増加しており、特にチモシーが 6,400 本 (+1,089 本) と大幅な増加となり、主要産地の米国産 4,172 本 (+492 本)、カナダ産 2,228 本 (+597 本) といずれも大きく増加している。次いで輸入量の多いアルファルファは、主要産地が米国産で 4,122 本 (+369 本) と重量ベースでは 100,633 トンと同産チモシーを大きく上回っている。次いで増加したスーダンはすべて米国産で 2,568 本 (+492 本) となっている。

植物検疫統計による昨年の全国牧草輸入量は、1,840,361 トン (前年比 101.0%) と輸入全体量が微増に対し、東京港の輸入量は 433,128 トン (同 117.3%)、コンテナ本数 18,625 本で前年に比べプラス 2,768 本と大きく増加している。主な増加要因は、米国産牧草増加によるものが大きく、船会社アライアンスの変動により北米航路 (PNW) の入港船数の増加が大きく影響している。従来、横浜港へ入港していた船社の本船が東京港へ入港するなど、東京港-横浜港間での船社動向による変動も一部に指摘されている。

国内の酪農において、輸入牧草は主要な粗飼料源となっており、生産国の干ばつなど天候不順による生産減、高採算作物への転作による作付面積減少、韓国、中国、UAE などの牧草輸入新興国の需要増による価格高騰、米西海岸港湾ストライキ、国内酪農家の減少など、様々な影響により輸入量の変動が起こりえる。今後も輸入動向に注目したい。 (人見 哲也)

全植検協神戸支部業務研究会に参加して (境港)

10 月 19 日～20 日の 2 日間、(一社) 全国植物検疫協会神戸支部研究会が鳥取県米子市、境港市で開催され、参加する機会を得た。

1 日目、(一社) 境港植物検疫協会・小川勝会長から歓迎のあいさつがあり、続いて、神戸植物防疫所業務部・石川統括から「植物検疫を巡る最近の情勢」、境港出張所・草刈所長から「境港における植物検疫の現状」の説明を受けた。その後、境港管理組合港湾管理委員会事務局総務課・郡課長補佐から「境港の港湾機能強化について」の講演があった。講演では、境港の今後の課題として、非効率な荷役を解消するための埠頭再編、大型船の沖待ち解消のための新ターミナルの整備を挙げている。また、貨客船の増加、大型化に対応できる新貨客船ターミナルを整備中で、アジア最大級の貨客船が寄港するとツアーバスが 100 台を超えるとのことで、交通渋滞対策も心配されていた。

2 日目は境港の植物検疫関連施設の見学を行った。

日新バイオマス発電(株)は、地球温暖化への対応対策や再生可能エネルギーの導入促進の社会的ニーズが高まる中、平成 27 年 2 月に営業運転を開始した、木質チップを燃料とする発電所である。グループ会社の合板工場からの端材由来のチップと林地残材・間伐材由来のチップを 1 : 1 の比率で年間に 8 万トン使用し 4500 万 kW を発電している。



その後、牡丹苗の集出荷施設を見学させていただいた。昭和 30 年ごろに芍薬の台木に牡丹の芽を接ぐという新しい栽培技術が開発され、生産量が増加したことから販路拡大で海外輸出が始まった。集荷された苗は土壌が残らないようきれいに洗浄し、地下部のセンチチュウ駆除の 48℃で 30 分の温湯浸漬、さらに害虫、病気対策の薬剤浸漬を 30 分行う。処理後の苗は、根回りをおがくずと水苔で保護し欧米などに輸出される。

今回、研究会に参加し、普段見ることが出来ない境港の現状を勉強させていただき、貴重な経験を得た。また、1 日目の講義終了後に、各地域協会の方々との情報交換や親睦が和やかに行われ、大変有意義な時間を過ごさせていただいた。

終わりに、本研究会の開催にご尽力され、お世話になりました全植検協神戸支部、境港協会をはじめ関係者の皆様に心より厚く御礼申し上げます。 (佐藤 勉)

東京港輸入植物品目別統計表

(平成 29年 1月 - 10月累計)

品目	単位	コンテナ詰			在来船積		合計	
		本数	検査数量	不合格数量	検査数量	不合格数量	検査数量	不合格数量
栽植用植物	個	46	1,898,663	166,262	0	0	1,898,663	166,262
栽植用球根類	個	105	20,226,070	2,120	0	0	20,226,070	2,120
アマリリス	"	8	78,684	0	0	0	78,684	0
チューリップ	"	1	130,150	0	0	0	130,150	0
ユリ	"	88	17,557,275	0	0	0	17,557,275	0
栽植用種子	kg	316	2,870,727	150,628	0	0	2,870,727	150,628
草花・樹木	"	2	6,514	0	0	0	6,514	0
野菜	"	173	697,536	1,000	0	0	697,536	1,000
普通・特用作物	"	40	583,265	122,640	0	0	583,265	122,640
牧草・芝草	"	86	1,456,713	24,947	0	0	1,456,713	24,947
切花、切葉、切枝	個	1,519	244,029,143	13,697,770	0	0	244,029,143	13,697,770
アンスリウム	"	0	1,364	0	0	0	1,364	0
オンシジューム	"	251	12,699,544	884,664	0	0	12,699,544	884,664
キク	"	790	66,639,995	2,450,512	0	0	66,639,995	2,450,512
シダ(レザーフアン)	"	128	30,269,380	652,300	0	0	30,269,380	652,300
果実	kg	10,124	180,623,927	10,832,822	232,177,841	163,940,827	412,801,768	174,773,649
オレンジ	"	1,386	23,760,759	2,172	1,023,873	0	24,784,632	2,172
グレープフルーツ	"	787	15,141,595	1,194,012	15,767,178	0	30,908,773	1,194,012
タンジェロ(ミネオラ)	"	349	6,603,606	0	0	0	6,603,606	0
レモン	"	1,140	24,072,129	630,391	471,380	0	24,543,509	630,391
パイナップル	"	598	11,876,557	1,683,379	19,414,544	17,330,173	31,291,101	19,013,552
バナナ	"	1,266	22,530,509	5,123,799	173,483,689	146,610,654	196,014,198	151,734,453
マンゴウ	"	157	1,975,094	0	420	0	1,975,514	0
キーウイフルーツ	"	469	8,166,082	13,063	22,005,658	0	30,171,740	13,063
ブドウ	"	637	9,801,820	39,258	0	0	9,801,820	39,258
野菜	kg	13,954	271,927,236	2,812,876	68	0	271,927,304	2,812,876
カボチャ	"	475	10,811,732	997,113	0	0	10,811,732	997,113
サヤエンドウ(キヌサヤ)	"	17	110,139	3,200	0	0	110,139	3,200
パプリカ	"	90	559,177	18,561	0	0	559,177	18,561
メロン(ハミウリ含む)	"	171	2,962,302	0	0	0	2,962,302	0
キャベツ	"	706	14,125,176	190,420	0	0	14,125,176	190,420
セロリ	"	186	2,760,507	261,361	0	0	2,760,507	261,361
ナガネギ	"	1,673	23,974,327	183,035	0	0	23,974,327	183,035
ニンニクの芽	"	53	1,370,995	0	0	0	1,370,995	0
ハクサイ	"	45	760,485	22,950	0	0	760,485	22,950
ブロッコリー	"	680	5,949,640	506,489	0	0	5,949,640	506,489
レタス	"	344	3,967,288	185,624	0	0	3,967,288	185,624
タマネギ	"	4,475	110,765,582	141,900	0	0	110,765,582	141,900
ニンニク	"	547	8,554,122	22,429	0	0	8,554,122	22,429
アスパラガス	"	44	466,021	24,466	0	0	466,021	24,466
ゴボウ	"	279	7,774,492	11,900	0	0	7,774,492	11,900
サトイモ	"	49	960,120	26,000	0	0	960,120	26,000
ショウガ	"	455	9,786,682	0	0	0	9,786,682	0
ニンジン	"	1,132	31,523,591	51,000	0	0	31,523,591	51,000
こく類	kg	7,558	157,109,270	1,054,180	185,255,589	19,519,136	342,364,859	20,573,316
オオムギ	"	29	591,996	0	0	0	591,996	0
エンバク	"	258	5,537,961	0	0	0	5,537,961	0
コムギ	"	270	5,257,846	1,014,580	185,255,589	19,519,136	190,513,435	20,533,716
コメ	"	1,277	24,400,378	39,600	0	0	24,400,378	39,600
ソバ	"	59	1,187,268	0	0	0	1,187,268	0
トウモロコシ	"	169	2,939,695	0	0	0	2,939,695	0
モルト	"	5,425	115,980,907	0	0	0	115,980,907	0
まめ類	kg	6,708	134,182,646	817,191	0	0	134,182,646	817,191
エンドウ	"	44	946,670	0	0	0	946,670	0
ダイズ	"	6,395	128,555,610	817,191	0	0	128,555,610	817,191
ラッカセイ	"	88	1,709,198	0	0	0	1,709,198	0
嗜好香辛、薬染料、その他食品	kg	3,494	52,587,427	38,200	0	0	52,587,427	38,200
カカオ	"	31	385,092	0	0	0	385,092	0
コーヒー	"	132	1,992,255	0	0	0	1,992,255	0
タバコ	"	827	15,130,180	0	0	0	15,130,180	0
アーモンド	"	828	13,505,027	0	0	0	13,505,027	0
クリ	"	25	347,154	37,200	0	0	347,154	37,200
クルミ	"	560	8,177,904	0	0	0	8,177,904	0
ポップコーン	"	223	4,490,975	0	0	0	4,490,975	0
油料、肥飼料、その他雑品	kg	23,540	531,130,106	475,146	11,761	0	531,141,867	475,146
乾燥牧草(へイ)	"	17,717	411,093,443	229,364	0	0	411,093,443	229,364
アニマルフィード	"	25	347,029	26	0	0	347,029	26
アルファルファヘイキューブ・ペレット	"	1,188	30,436,991	0	0	0	30,436,991	0
コーンコブミール	"	7	176,400	0	0	0	176,400	0
飼料用大豆カス、ペレット	"	0	0	0	0	0	0	0
ビートパルプペレット	"	0	0	0	0	0	0	0
イネワラ	"	46	519,543	0	0	0	519,543	0
ココピート	"	384	6,960,481	0	0	0	6,960,481	0
ココヤシ園芸資材	"	254	5,336,073	0	0	0	5,336,073	0
ビートモス	"	743	16,037,610	0	0	0	16,037,610	0
ミズゴケ	"	47	107,101	0	0	0	107,101	0
タケ	"	81	1,112,116	0	0	0	1,112,116	0
木材	m³	40	688	427	0	0	688	427
** 総合計 **	kg	65,694	1,330,431,339	16,181,043	417,445,259	183,459,963	1,747,876,598	199,641,006
	個	1,670	266,153,876	13,866,152	0	0	266,153,876	13,866,152
	m³	40	688	427	0	0	688	427

注) 主要品目のみ掲載。携帯品、郵便物及び他港からの荷受分は含めない。